

学習指導案 (想定される領域・教科:生活単元学習、自立活動)

1 題材名「季節にあった服を着よう」




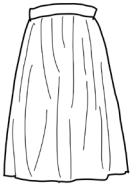

2 本時のねらい

- ・季節によって着る服が替わることを知る。
- ・暑いとき、寒いときに応じた服を選ぶことができる。

3 番組の活用について

- ・自分の好みだけではなく、暑さや寒さに合わせて服を選ぶことができる力を育てる。
- ・簡単なゲームを通じて、ボディイメージを掴むことができる。

4 本時の流れ

主な学習活動と内容 (45分)	指導上の留意点			
① 児童に季節や服装について質問をする 問 (例) 今の季節は? 今、外に出たら暑い? 寒い? 今朝のみんなの服装は? なぜその服を着てきた?	・暑いや寒いや今の季節を想起できるようにイラストなどを用意することも考えられる。			
② 本時の学習内容を確認 季節にあった服を着よう	・①のやりとりを元に、児童のイメージを膨らませてから学習内容を確認するとよい。			
③ 映像を視聴する・～7'25まで ○ストレッチ場面では、映像に合わせてストレッチをする。 ※動画を一旦止め、ストレッチを更に入念に行ってもよい。	・教室の視聴環境に注意する。 ・実態に応じて動作補助の支援をする。 ・伸ばしている部分を手で触るなど、感覚的に理解できる支援を行う。			
④ 視聴後、要点を確認する ○ゴールドのアドバイスを元に、児童に質問をする。 問 (例) 「暑いときはどんな服装がいいって言っていたかな?」 「反対に、寒いときはどんな服がいいのかな?」	・「その時々にあった服を着よう」ということに意識がむくようにする。			
⑤ 季節にあった服をえらんでみよう ○10枚のカードから、場面に応じた服の組み合わせを考える。 ★場面は、例えば「木枯らしが吹く」、「太陽が照りつける砂浜」など、必要に応じてイラストや写真を用いると、季節の違いや暑さ、寒さを想起できると考えられる。 以下のカードは一例として表示している。	※必要に応じて「クリップ」を活用する。 <イラスト例> 木枯らし(冬) 			
				
				

	<p>⑥ 映像を最後まで視聴する</p>	
	<p>⑦ 簡単なあそびをする（時間や状況に応じて選択する）</p> <p>○ 棒を使った身体の部位を指し示すあそび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の部位を指示して、棒の先で指し示すあそび 「○○」と指示をし、できるだけ俊敏に棒の先で指し示す。 ・ 2カ所の部位を指示して、棒の先を移動させるあそび 「○○から△△」などというように指示をする。 <p>○ フラフープを使ったあそび（2種類）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両手でフラフープを持ち、そのまま頭上に持ち挙げ、合図で離し、地面まで落とす。 ・ 首にぶら下げたフラフープを、首から首へとリレーする。 <p>※ あそびについての解説は、NHK for schoolのウェブサイト「きょうざい」や「先生向け」をご参照ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頭、首、肩、背中、肘、手首、胸、腰、お腹、お尻、膝、足首、つま先など具体的な場所を指示する。 ・ 2カ所を指示するあそびでは、長い距離ではなく、「膝から足首」や「肩から肘」等というように短い距離で指示をする。 ・ 身体に触れずに地面まで落ちるように離す場所を工夫する。 ・ ゆっくりでいいので、前傾姿勢をしっかりと取り、フラフープを落とさないようにリレーをするとよい。
	<p>⑧ 本時の振り返りとまとめをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習を大まかに振り返る。 板書を活用して、本時の学習を、順を追って振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視聴した映像のスクリーンショットなど視覚的な資料を活用しても可。

【他の教科との関連】 **生活科** 2段階 ア 基本的生活習慣

(イ) 身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身に付けること。

5 評価

- ・ 季節、暑さや寒さなど、その時々にあった服装を判断することができたか。(知識・技能)、(思考・判断・表現)
- ・ 得た知識を元に、自分たちの生活と結びつけて生かそうとすることができたか。(主体的に学習に取り組む態度)

